

広報 すぎなみ

Suginami



杉並にホタル舞う、
懐かしい初夏の風景。

都心近くの住宅街で幻想的なホタルの光を楽しめるとして話題の「久我山ホタル祭り」が、今年も開催されます。23年目を迎え、すっかり初夏の定番行事となったこのイベントを運営しているのが、久我山連合商店会の皆さんです。その中心メンバー3人に、久我山とホタルとの関わりを振り返っていただくとともに、イベントを通じて目指す地域活性化への思いについて伺いました。



支えあい共につくる
安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並

{ 5/15 }
平成30年(2018年)
No.2229



特集

すぎなみピト

ホタルを守る人たち

Contents — 主な記事 —

6 | 介護予防・フレイル予防に取り組みましょう 7 | 住民税(特別区民税・都民税)のお知らせ 9 | 6月は子ども読書月間です 16 | みどりのイベント2018

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 | ☎ 3312-2111(代表) FAX 3312-9911(広報課直通) | 🌐 区ホームページ: <http://www.city.suginami.tokyo.jp/> | 📄 発行: 杉並区 | 📝 編集: 広報課

広報すぎなみは月2回(1・15日)発行。新聞折り込みのほか、区の施設・駅・コンビニエンスストアなどの広報スタンドに設置しています。

ホタルが見られる久我山で育ってよかった、と子どもたちに言ってほしい。

一都心に近いにぎやかな久我山で、ホタル祭りが開催されるようになった経緯を教えてください。

瀬戸：ホタル祭りは、「久我山の豊かな自然環境の中心である玉川上水にホタルを放流して、環境に恵まれた久我山の素晴らしさを子どもたちに伝えよう」と生まれたものです。当時、久我山南銀座会会長を務めていた堀江京司さん(故人)の発案です。堀江さんは、ホタルの放流を通じて地域の人々が交流し、ホタルがすめるような環境づくりを共に進めることが地域の振興につながることも考えていました。そんな堀江さんの思いに賛同した、当時の久我山南銀座会青年部メンバー数人によって第1回のホタル祭りは開催されました。



林：平成8年、第1回の来場者は2000人ほどだったと聞いています。それからしばらくは地域密着イベントとして開催されていましたが、14年に久我山の3つの商店会による連合商店会が発足して祭りを主催するようになると、ガラリと様変わりします。それまで玉川上水会場単独で1日だけの開催でしたが、神田川会場を合わせた2会場で2日間わたって開催されるようになりました。イベントの規模、内容ともに、格段にレベルアップした結果、来場者も大幅に増加し、ホタル祭りは地域を越えて幅広く知られるイベントになりました。

松村：現在、ホタル祭りに足を運んでくださる方は、2日間で約5万人に上ります。この間、久我山とその周辺地域は、文字通り人であふれます。問い合わせもひっきりなしに寄せられるものですから、私たちはたてこ舞いです。でも、「わあー、すごい」「ホタルを見られてよかった」という子どもたちの声を聞くと疲れは吹き飛びます。お母さん方の世代もホタルを見たことがない人がほとんどなので、ホタルの生態について説明すると親子で熱心に聞いてくれるのがうれしいですね。



林：子どもたちの声を聞くと私自身も童心に帰ります。懐かしい風景がよみがえってくるんですよ。

一ホタルの人工飼育もしているそうですね。

瀬戸：ホタル祭りがスタートした翌年から、「久我山産」のホタルを育てようと人工飼育に取り組んでいます。

林：戦後間もなくまでは、この辺でもたくさんのホタルが見られたと、当時を知る何人もの方から聞きました。そんな自然環境を、ぜひ現代によみがえらせたいというのが私たちの思いです。

松村：私は生き物が好きなので、連合商店会の一員としてホタル祭りの運営



プロフィール：林宣行(はやし・のぶゆき)、久我山連合商店会会長兼商店街振興組合久我山商店会代表理事。松村明(まつむら・あきら)、久我山平和会会長。瀬戸義信(せと・よしゆき)、久我山南銀座会会長代行。ホタル祭りの立ち上げに携わる。現在、ホタル祭り実行委員長。林さんと松村さんがホタル祭りの開催に携わるのは、3商店街共催になった14年から。

林宣行 松村明 瀬戸義信

に携わるようになってすぐ、自宅で人工飼育を始めました。私と同じように自宅でのホタル飼育に挑戦している人が大勢いるんですよ。

林：平成9年から飼育を開始し、ホタル祭りに提供された成虫からの産卵・孵化に成功しています。その後、13の小学校や中学校に飼育セットを貸し出して生徒の皆さんにホタルを育ててもらい取り組みも展開しました。子どもたちも生命の神秘を目の当たりにし、感動していましたよ。

一ホタルの飼育は難しいのでは。

松村：そうですね。例えば水の管理です。水は、自宅の井戸水を用いているのですが、そのままではホタルを育てられません。酸素を溶け込ませるなどで育成に最適な状態にする必要があるのです。また、餌として生きたカワニナ(淡水生の小さな巻き貝)が必要ですが、山で採取

して水ごと運んでくるため、どうしてもそこに多数のヒルが交ざってしまいます。ヒルは放っておくと大きく育ち、カワニナが食べられてしまうなど害があるので、きちんと取り除かなければなりません。さらに水流をつくり出して一定に保つ必要がありますから、とにかく手間なんです(笑)。私の場合、階段状につなげたいいくつかの飼育層を水が循環する装置を自作して、ホタルが好む水場の環境を維持し、多数の幼虫を育てています。



林：今、商店会では人工池での自然繁殖にも挑戦しています。現在は、神田川沿いの宮下橋公園の一角に、区の許可を得て人工池を造っていますが、今はまだ思い通りに幼虫は育てていません。

瀬戸：課題は2つあります。1つは、水質です。人工池では思うような水質をつくり出せないのです。もう1つは餌のカワニナです。カワニナが自生しなければホタルは育ちませんが、ホタルの幼虫を育てるのと同様、簡単なことではありません。これらの課題がクリアできれば、久我山産のホタルは爆発的に増えるはずですが、ホタルを仕入れて放流しなくても、自生のホタルだけで祭りを楽しめる日が、いつか訪れるかもしれません。

林：育成のノウハウは十分にあるので、あとは環境を準備するだけなのですが、難しいものですね。自然繁殖がうまくいけば、ホタルが舞う豊かな自然環境は久我山の観光資源になります。6月にホタルが見られることが子どもたちにとっての自慢になり、「久我山で育ってよかつ

今年は6月9日(土)・10日(日)

久我山ホタル祭り

同時開催ホタルサミット

久我山ホタル祭り

図 6月9日(土)・10日(日)午後1時～9時 図 図 ホタル観賞(日没後) = 神田川会場、玉川上水会場、久我山稲荷神社▶ホタル生態説明 = 久我山中央緑地公園▶チビッコ園芸体験(10日)、各種模擬店、防災キャンペーンほか 図 久我山連合商店会事務所 ☎3333-6867



ホタルたちは繊細です。マナーを守って観賞しましょう!

図 ①神田川・玉川上水会場は、夕方から一方通行となります。電車で来場する方は、京王井の頭線久我山駅で下車してください②夕方から自転車・ベビーカーは通行禁止です(両河川会場内)。西・北駐輪場、宮下橋公園臨時・岩崎通信機本社臨時駐輪場をご利用ください

ホタルサミット

図 6月9日(土)・10日(日)午後2時～6時 図 久我山会館(久我山3-23-20) 図 ホタル観賞ルーム、スタンブラリー、物産展、ワークショップ 図 ホタルサミット実行委員会 ☎5347-9138

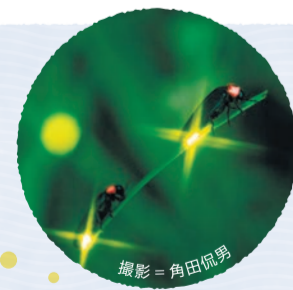
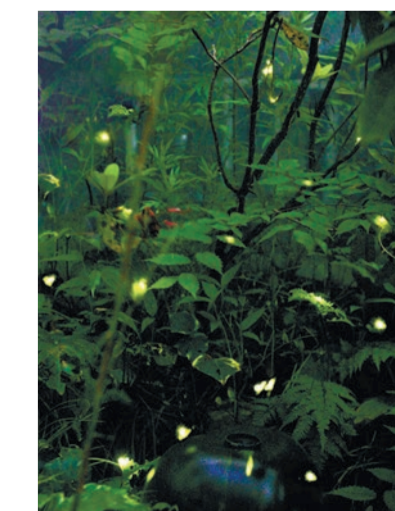
た」と言ってもらえるようになれば願って活動しています。

一ホタル祭りのさらなる発展に向けて力が入りますね。

松村：祭りをさらに盛り上げていくためにも若い力が必要です。若い世代にホタル祭りや商店会の活動にもっと関心を持ってもらい、ぜひ運営に参加してほしいと思います。

林：現在のようなホタル祭りを続けていくためには、商店会の若返りが重要課題であるのは間違いありません。一方で、地元の方々の、ホタル祭りに対する支援が年々増えていることに私は注目しています。例えば、祭りの期間中には久我山の町会自治会連合会から応援いただいていますし、地元の中学校では、祭りが終わると生徒と先生、保護者ら約50人が早朝に集まって清掃してくれます。このような支援の広がりを私はとても心強く思っています。地元の方々と協力し合って、祭りを通じた地域活性化の灯を絶やさないようにしていくことが、私たちにとって一番大事なことだと考えています。

瀬戸：普段から思うのは、久我山の住人は皆、心優しい人ばかりだということです。これは、久我山の自慢の一つであると私は考えています。ホタル祭りは、訪れる人の心を温かくしてくれる優しいイベントですから、そんなイベントを後世につないでいくことによって、久我山の人の優しさも伝え続けていければ、とても素晴らしいと思います。



知ってる?

ホタルの豆知識

どうして光るの?

ホタルが光るのは、繁殖のパートナーを見つけるためだといわれています。雄は光を発しながら飛び回り、雌を探します。一方、雌は気に入った雄に対して光を返すのだそうです。危険を察知して光を発することもあります。

何を食べているの?

ゲンジボタルの場合、幼虫が餌にするのが、カワニナという小さな巻き貝です。体ごと貝殻に潜り込み、口から消化液を出してカワニナの肉を溶かして食べます。成虫は餌を食べません。幼虫のころに蓄えた栄養と水だけで活動し、2週間ほどで寿命を迎えます。

宮下橋公園ホタル池



ホタルを見るポイント?

一生を湿地帯で過ごすホタルは乾燥が苦手です。元氣よく飛び回る姿を観賞するのなら、大雨の後など、湿度の高い日がチャンスです。ホタルの活動が活発になる中心時間帯は、午後7時～8時台といわれています。